

# 北響かわらばん

2016（平成28）年3月1日発行 No. 6

発行：北海道公立小中学校事務職員協議会

<http://gakkoujimu.jp/>

発行責任者 常陸 敏男

編集責任者 田中 邦彦

2月に北海道実務要覧編集委員研修会、職務検討委員研修会が開かれました。

「北海道実務要覧編集委員会」より…次回の追録は4月中旬ごろ発行の予定です。

## 北海道学校実務要覧 追録 176・177号 編集内容

### 第1巻

- ・財政財務活動に関する資料追加
- ・再任用制度概要の改定
- ・任用記載例の一部修正
- ・退職に係る提出書類の修正
- ・休暇制度一覧表整理
- ・公務災害制度の一部修正
- ・中学校教科書採択一覧表の改正

### 第2巻

- ・再任用職員の給与、資料の変更
- ・個人番号の取扱いについて
- ・道立学校職員の自家用車の公用使用に関する要綱の一部改正について
- ・住宅借入金等特別控除の修正
- ・扶養手当等確認調書に添付する証明書等一覧の修正

### 第3巻

- ・資格取得時の手続きの修正及び記入例の変更
- ・貸付利率及び貸付に係る必要書類一覧の一部変更
- ・短期給付に係る支給方法の一部変更
- ・互助会指定宿泊施設の修正

### 第4巻

- ・給料表（H27.4.1適用）改正～教育・医療
- ・学校別陸路キロ程運賃表の改正（留萌・胆振・十勝・根室）
- ・旅費関係資料の改正（道南いさりび鉄道線 他）

## 北海道学校実務要覧様式集 編集内容

- ・公務災害申請書修正 ・「給与の減額に関する報告について」（追加）
- ・個人番号（マイナンバー）申告書（追加）

## 北実コラム

さつぱろ雪まつりを横目に、2016（H28）年2月3日～5日で追録176・177号の編集を終えました。編集委員研修会は、どこか「サスペンスドラマ」に似ています。1日目の午前中は、刑事の捜査会議のような入念な打ち合わせから始まります。会長挨拶、報告事項、会員からのご意見・ご質問や、各巻の今回編集内容の確認。編集委員がこの3日間に関係機関（道教委など）へ出向くこともあるので、その動向も確認します。

追録の編集は年3回行われますが、その間に一つの事件（条例・規則の改正など）が起こると、刑事の裏付け捜査のように、条例・規則改正の通知、北海道公報、ポータルサイト、会員からのご意見・ご質問、関係機関への確認等で、地道に確かな情報を集め原稿を準備します。編集当日は事件の真相を組み立てるように、「北実」本体に、ページの削除や準備した原稿の追加、赤ペンで一部修正などを行うのです。編集作業中は基本的に無言ですが、あるきっかけで、新たな通知文書の解釈や日常的な事例などの話題が出ると、編集委員同士で議論が白熱することがあります。そんなとき、「ホワイトボード」を使って整理し、検証や意見交流をすることさえあるのです（出たあ！事件検証で定番アイテムです）。

最後に期待するのは、やはり「崖っぷち」シーンでしょうか？安心してください。さすがに「崖っぷち」はありません。しかし、編集最終日は編集委員相互で、誤りや不備がないか全巻隅々まで厳しいチェックを行うのです（心理的に追い詰め完成度が高まります。最後の最後まで気が抜けないという意味では、「崖っぷち」シーンを思わせます）。

「北実」は、事務職員が知りたい情報を、同じ事務職員が現場目線で拾い上げて載せています。少しでも曖昧な情報は、関係機関などへ確認し裏付けをとるなど、正しい情報を載せるために細心の注意を払っています。そういった意味で決してネット等に代わり得ない情報の宝庫なのです。日常にご活用いただくとともに、会員の皆様からの情報も何よりの情報源ですので、ご意見・ご質問等をいただけたら幸いです。

（今回のお当番 2巻担当 清川）

# 「ショック」…職務検討委員会です！

第2回職務検討委員研修会が、2月4日～5日の二日間に渡って開催されました。

職務検討委員会では、今回から委員が「答申班」「運営班」の2班に分かれ、各班で協議したものを全体で確認する方法で会議をすすめています。

「答申班」では、諮問事項である「財政財務・保護者負担」について、わかりやすく具体的にとりくみやすい答申内容とするためのアイデアを出し合いました。

「運営班」では、全道研・第5分科会で予定している企画の1つ「ワールドカフェ方式」を実際に試行しながら、当日のおおまかな構成を決定し、今後の見通しを整理しました。

## ☆「ワールドカフェ方式」とは？

最近の就職活動や研究会などで用いられている新しい「話し合いの手法」です。

グループ討議のような「話し合い活動」と同じ仲間とってください。

## ☆「ワールドカフェ方式」の具体的なすすめ方です！

1. 模造紙を配置したテーブルが複数用意されています。  
そこに数名程度の少人数に分かれて座ります。
2. 参加者は、飲み物などを片手に気軽な雰囲気の中で、  
テーマに沿った話し合いをすすめていきます。  
テーブルには1名のホストが配置されますが、  
司会役ではなくあくまで自由な話し合いとなるよう補助します。
3. 参加者は、一人ひとりが思ったことや気づいたことなどを、各自で模造紙に自由にどんどん書き込みながら意見交流をします
4. 一定の時間がきたら、参加者はホストを残して次のテーブルに移動し2～3を繰り返します。
5. 自由闊達な論議を重視します。論議はまとめたりせず、思いつくままに意見を交流します。



ワールドカフェは「知識や知恵は、機能的な会議室の中で生まれるのではなく、人々がオープンに会話をし、自由にネットワークを築くことのできる『カフェ』のような空間でこそ創発される」という考えから生まれたものです。

職務検討委員会では、「子どもの教育権を保障する」ために具体的にできる活動を、全道の学校事務職員のみなさんが「学校ですすすめていること・プラス1」から、つくりあげていきたいと考えています。第5分科会で大いに語り合い、次へのステップを一緒に踏み出してみませんか？

たくさんの方々のご参加を心待ちに、インフルエンザもぶっとばして準備を頑張っています。

## 本部の動き

4月21～22日	第6回役員研修会	札幌市
4月21～22日	第2回メディア委員研修会	札幌市
5月12～13日	第3回職務検討委員研修会	札幌市

=協議会HP 会員専用ページ:「ID」(ユーザー名) : 74q7h 「パスワード」: gwh28 半角英数=

### あとがき

3月になってしまいました。新採用者の方や今年度異動された方は、時が過ぎていく感覚が長く、やっと3月になったかと思う方もいるでしょう。ただ、時を経るごとにだんだんと時が過ぎていく感覚が短く感じがちです。これは、新しい環境に慣れ物事がスムーズに行くようになった証かもしれません。ただ、環境に慣れる→慣性になり新たなことを学ばない・やらない→新しい環境になった時に苦労するということもあります。そうならないためにも、各種研究会などの集まりに参加し、アウトプット・インプットの行為は大切だと思います。(和)